▲八鹿駅開設100周年を祝ってダンスを披露する八鹿バトン体操教室ラビットクラブのメンバー

▶鉄道利用者に記念品を渡す1日駅長の小橋さん

記念式典で八鹿駅開設100周年を祝う

本年7月1日、山陰本線和田山八鹿間の開通から100年を迎えることを記念し、開設100周年記念行事（主催／八鹿町中心市街地活性化推進連絡協議会）が行われました。

6月29日、八鹿駅開設100周年記念式典がＪＲ八鹿駅で開催され、市民をはじめ関係者が出席して節目の年を祝いました。式典では、1日駅長に駅前区長の小橋忠宏さんが任命され、特急列車に乗降する利用者へ記念品などを配り、ＪＲの利用促進を呼びかけました。小橋さんは「多くの人や材木を輸送するなど賑やかだった当時の駅が懐かしい。今後も駅前の街並みを残していきたい」と話しました。

また、6月28日から7月21日にかけて、ショッピングタウンペア内のやぶ市民活動センターで開催されている鉄道展では、鉄道愛好家から提供を受けた列車のヘッドマークやプレートなどのほか、昭和初期の列車の写真などが展示され、多くの鉄道ファンらがつめかけました。

「まちづくり人材養成講座」が開講

1期生がまちづくりの実践活動を学ぶ

市では、平成20年度の地域再生推進事業の一環として、まちづくり人材養成講座を開講しています。

この講座は、ともに働く元気な養父づくりを実現するため、講師に神戸市を中心にまちづくり団体等のアドバイザーとして活躍中の松原永季さんを招き、市民の方を対象に開講しているものです。

6月13日、第1回講座が市役所で開かれ、1期生7人が参加。今後、8月まで全5回の講座が開かれ、地域や各種団体における会議の持ち方や合意形成に至るまでの技法など、具体的な手法（コミュニケーション、ファシリテーションなど）について習得します。

▶まちづくりの技法を学ぶ参加者

～お詫びと訂正～

市広報やぶ6月号9ページのまちの話題の中で「災害時の応急対策業務協定」の一覧について掲載しましたが、次の協定について掲載漏れがありました。お詫びして訂正いたします。

▼施設利用に関する協定（市が認めたコミュニティ団体が体育館と屋外施設を利用、災害発生時の避難場所として利用、選挙の投票所として利用）＝ウィザス　ナビ高等学校と締結